

令和6年度

# 学 校 要 覧



## 長崎県立希望が丘高等特別支援学校

〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 986-6

電 話 (0957)43-5544

F A X (0957)43-5604

E-mail kibougaoka-ss@news.ed.jp

U R L <https://www2.news.ed.jp/kibougaoka-ss/>

# 長崎県立希望が丘高等特別支援学校校歌

作詞 永 石 直  
作曲 西 村 雄 二

♩ 100 明るくのびのびと

*mf*

1. ふ か い み ど ー り ー に る つ つ ま れ て  
2. ひ か か り あ ふ ー れ ー る つ の ま だ れ う て  
3. な み お だ や ー か ー な つ こ と の の う み

は なる た ち ば な の の か お ー る さ と  
は なる た ち ば な の の か お ー る さ と  
は なる た ち ば な の の か お ー る さ と

*f*

は ら か ら と も に } わ て を つ く り  
は ら か ら と も に } わ て を つ く り  
は ら か ら と も に } わ て を つ く り

*ff*

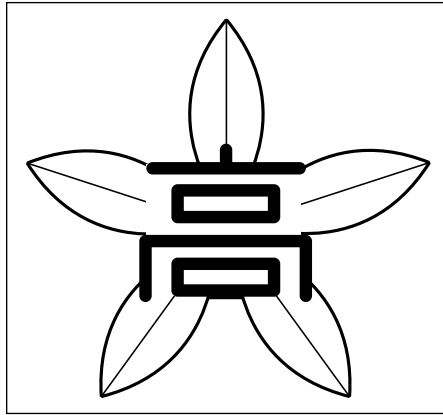
た 一 え る こ こ ろ を ま な ぼ う よ  
た の 一 め の を こ ざ ー を み は な が ぼ う よ } あ  
た の 一 め の を こ ざ ー を み は な が ぼ う よ } あ

あ き ぼ う が お か き ぼ う が お か に } ひ が の ー ぼ る  
あ き ぼ う が お か き ぼ う が お か に } ひ が の ー ぼ る  
あ き ぼ う が お か き ぼ う が お か に } ひ が の ー ぼ る

一 深い緑につつまれて  
花橘の香る里  
はらからともに輪をつくり  
忍耐<sup>た</sup>える心を学ぼうよ  
ああ希望が丘  
希望が丘に陽がのぼる

二 光溢れるこの大地  
はるかにのぞむ多良の峰  
はらからともに手を取りて  
錬達<sup>たくみ</sup>の技を磨こうよ  
ああ希望が丘  
希望が丘に虹がたつ

三 波穏やかな琴の海  
空の港につどいたち  
はらからともに舞い翔びて  
理想<sup>のぞみ</sup>をいだきはばたこう  
ああ希望が丘  
希望が丘に灯がともる



## 校章

みかんは、本校の所在地である多良見町の特産である。初夏になると真白い五弁の花をつける。その芳香は一里四方へと放たれ、人の心をなごませる。本校で学ぶ生徒たちが、みかんの花のように、清らかで、美しく、柔和であることを願い、みかんの五弁の花に高等特別支援学校の「高」を配置した。そして、本校教育方針5項目を、五弁の花に象徴的に託し校章とした。



# 一 学校沿革

平成元年 2月21日	長崎県定例教育委員会において、設置決定
平成2年 4月1日	設立準備委員長・準備委員発令
” 8月1日	設立準備委員発令
” 9月1日	設立準備委員発令
” 10月5日	定例県議会において、「長崎県立希望が丘高等養護学校」設置
” 11月10日	体育館竣工
” 11月26日	校舎竣工
平成3年 3月5～8日	入学者選考検査実施
” 3月25日	運動場及び環境整備竣工
” 4月1日	初代校長 永石 直 発令
” 4月8日	開校式並びに第1回入学式挙行 入学許可者数18名「定員2学級（18名）」
” 11月2日	落成記念式典挙行
平成4年 4月8日	第2回入学式挙行「入学許可者数18名」（定員2学級18名）
” 11月2日	屋外体育倉庫竣工
平成5年 4月8日	第3回入学式挙行「入学許可者数21名」（定員2学級18名）
平成6年 2月10日	自主公開研究発表
” 3月1日	第1回卒業式挙行「卒業生18名」
” 4月1日	二代校長 松本 瀧彦 発令
” 4月8日	第4回入学式挙行「入学許可者数27名」（定員3学級27名）
平成7年 3月1日	第2回卒業式挙行「卒業生17名」
” 3月31日	学級増に伴う鉄筋コンクリート造一部鉄骨造二階建及び校舎内部改装工事、 木工室（鉄筋造平屋建）
” 4月1日～	平成7・8年度文部省指定 学校週5日制研究指定校
” 4月8日	第5回入学式挙行「入学許可者数30名」（定員3学級27名）
” 5月28日	平成7年度長崎県高等学校文化活動推進校指定（和太鼓部）
平成8年 3月1日	第3回卒業式挙行「卒業生20名」
” 4月8日	第6回入学式挙行「入学許可者数30名」（定員3学級27名）
平成9年 3月1日	第4回卒業式挙行「卒業生25名」
” 4月1日	三代校長 田村 嘉章 発令
” 4月8日	第7回入学式挙行「入学許可者数30名」（定員3学級27名）
平成10年 3月2日	第5回卒業式挙行「卒業生29名」
” 4月8日	第8回入学式挙行「入学許可者数29名」（定員3学級27名）
平成11年 3月1日	第6回卒業式挙行「卒業生27名」
” 4月8日	第9回入学式挙行「入学許可者数39名」（定員3学級36名）
” 7月30日	体育館ステージ増設
平成12年 1月31日	運動場表層改修工事竣工
” 3月1日	第7回卒業式挙行「卒業生28名」
” 4月8日	第10回入学式挙行「入学許可者数17名」（定員3学級27名）
” 8月10日	国旗掲揚台竣工

平成13年 3月1日	第8回卒業式挙行「卒業生32名」
” 4月1日	四代校長 井上 博 発令
” 4月9日	第11回入学式挙行「入学許可者数26名」(定員3学級27名)
” 11月4日	創立10周年記念式典挙行、校訓碑建立
平成14年 3月1日	第9回卒業式挙行「卒業生38名」
” 4月1日～	創意工夫による総合学習推進事業協力校
” 4月8日	第12回入学式挙行「入学許可者数25名」(定員3学級24名)
平成15年 3月3日	第10回卒業式挙行「卒業生16名」
” 4月1日	五代校長 荒田 博之 発令
” 4月8日	第13回入学式挙行「入学許可者数43名」(定員4学級40名)
平成16年 3月1日	第11回卒業式挙行「卒業生25名」
” 4月8日	第14回入学式挙行「入学許可者数36名」(定員4学級32名)
平成17年 1月19日～20日	入学者選考検査実施
” 3月1日	第12回卒業式挙行「卒業生26名」
” 4月8日	第15回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成18年 1月6日	特別教室棟 新築 313.89㎡
” 3月1日	第13回卒業式挙行「卒業生42名」
” 4月1日	六代校長 谷口 恒夫 発令
” 4月10日	第16回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成19年 3月1日	第14回卒業式挙行「卒業生36名」
” 4月9日	第17回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成20年 2月25日	管理棟照明器具取替工事竣工
” 3月4日	第15回卒業式挙行「卒業生31名」
” 3月14日	校舎・体育館便所改修工事竣工
” 3月25日	校地法面整備工事竣工
” 4月8日	第18回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成21年 3月1日	第16回卒業式挙行「卒業生30名」
” 4月1日	七代校長 渡辺 正 発令
” 4月8日	第19回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
” 10月20日	屋根改修工事竣工
平成22年 2月10日	長崎県教育委員会指定研究(教育課程)研究発表
” 3月1日	第17回卒業式挙行「卒業生28名」
” 4月1日	「長崎県立希望が丘高等特別支援学校」に校名変更
” 4月8日	第20回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成23年 3月1日	第18回卒業式挙行「卒業生30名」
” 4月1日	八代校長 楠田 恭子 発令
” 4月8日	第21回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
” 9月7日	創立20周年記念植樹
” 11月20日	創立20周年記念式典挙行
平成24年 2月27日	体育館等屋根改修工事竣工
” 3月1日	第19回卒業式挙行「卒業生31名」
” 3月23日	下水道切替工事竣工
” 4月8日	第22回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)

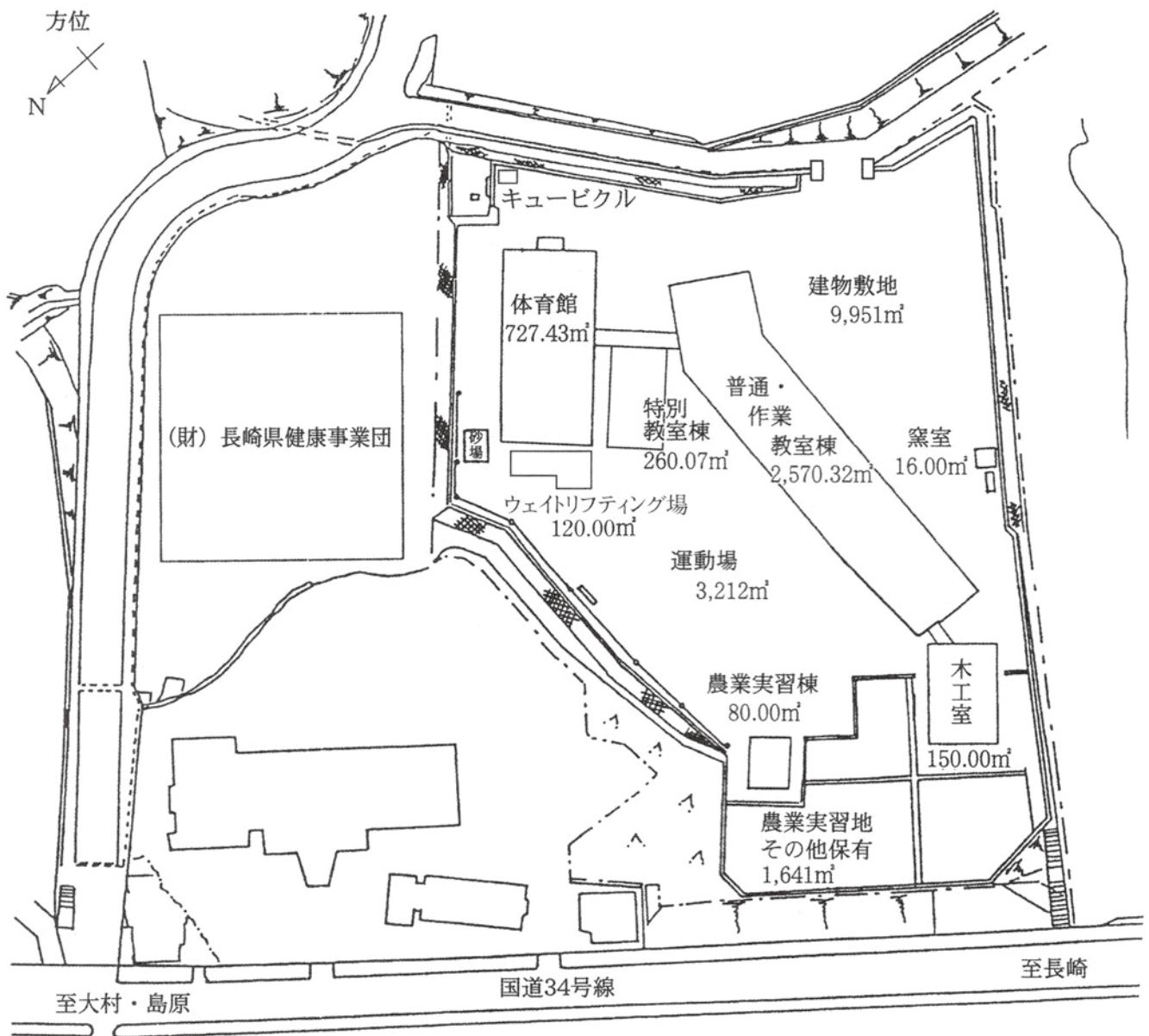
平成25年 3月1日	第20回卒業式挙行「卒業生32名」
” 4月1日	九代校長 林田 純雄 発令
” 4月8日	第23回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成26年 2月26日	ウエイトリフティング練習場および体育館倉庫竣工
” 3月1日	第21回卒業式挙行「卒業生31名」
” 4月8日	第24回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成27年 3月1日	第22回卒業式挙行「卒業生31名」
” 4月8日	第25回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成28年 3月1日	第23回卒業式挙行「卒業生31名」
” 4月1日	十代校長 宮崎 耕二 発令
” 4月8日	第26回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成29年 3月1日	第24回卒業式挙行「卒業生31名」
” 4月1日	十一代校長 川副 秀夫 発令
” 4月10日	第27回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成30年 3月1日	第25回卒業式挙行「卒業生31名」
” 3月27日	教室改修工事竣工(スライディングウォール取付)
” 4月1日	職業学科3学科(生活サービス科、流通サービス科、環境デザイン科)設置
” 4月10日	第28回入学式挙行「入学許可者数32名」(定員4学級32名)
平成31年 3月1日	第26回卒業式挙行「卒業生29名」
” 4月8日	第29回入学式挙行「入学許可者数29名」(定員4学級32名)
令和2年 3月1日	第27回卒業式挙行「卒業生(29名)」
” 4月1日	十二代校長 松尾 徳男 発令
” 4月8日	第30回入学式挙行「入学許可者25名」(定員4学級32名)
令和3年 3月1日	第28回卒業式挙行「卒業生(31名)」
” 4月8日	第31回入学式挙行「入学許可者32名」(定員4学級32名)
” 10月31日	創立30周年記念 記念植樹式 創立30周年記念式典挙行
令和4年 3月1日	第29回卒業式挙行「卒業生(27名)」
” 4月8日	第32回入学式挙行「入学許可者32名」(定員4学級32名)
令和5年 3月1日	第30回卒業式挙行「卒業生(21名)」
” 4月1日	十三代校長 伊藤 彰浩 発令
” 4月10日	第33回入学式挙行「入学許可者32名」(定員4学級32名)
令和6年 3月1日	第31回卒業式挙行「卒業生(31名)」
” 4月8日	第34回入学式挙行「入学許可者29名」(定員4学級32名)

# 四 学校環境

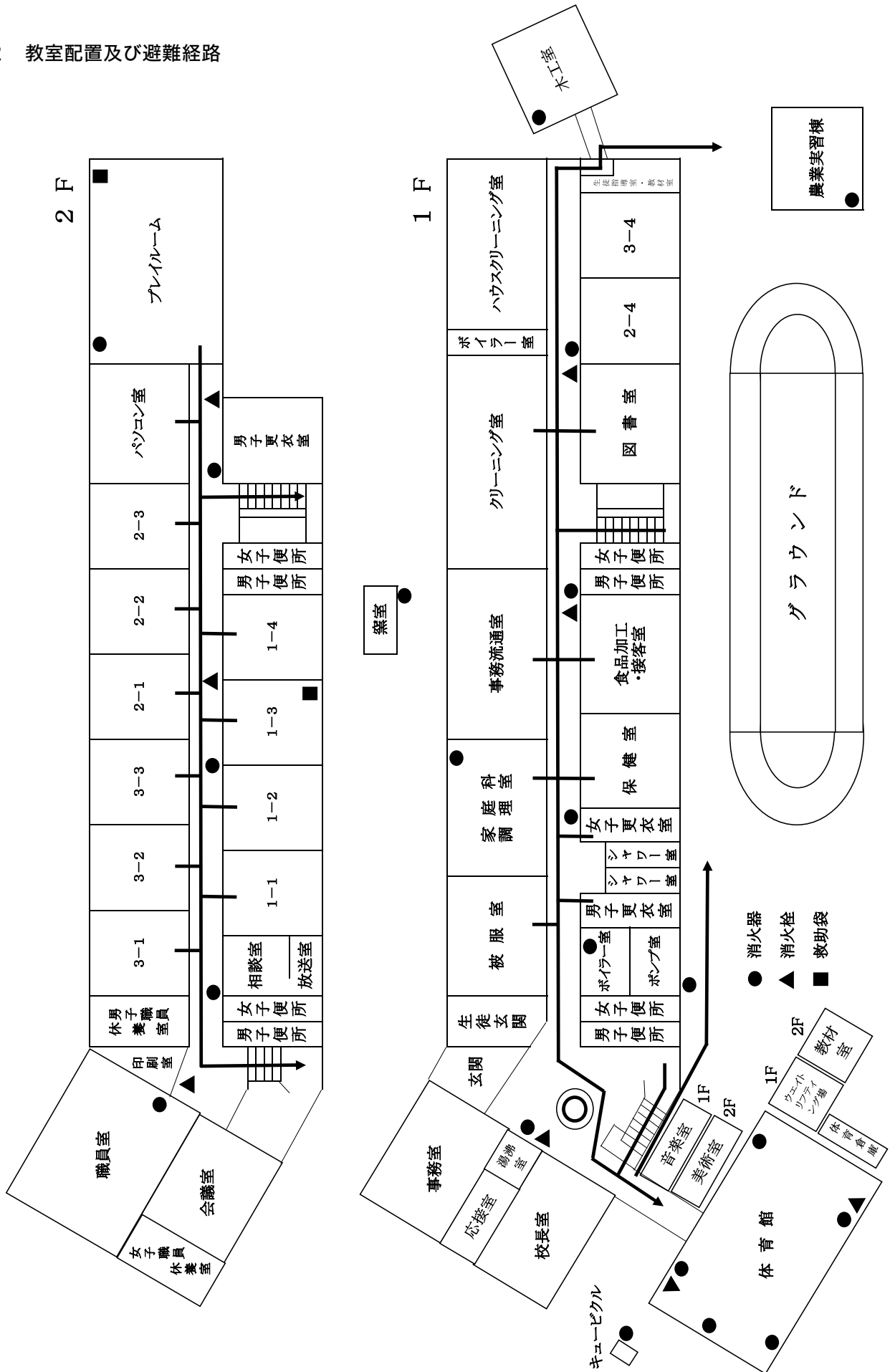
## 1 校舎配置図

建物総床面積 3,923.82㎡

校地面積 14,804.00㎡



## 2 教室配置及び避難経路





## 六 教育課程及び教育活動

### 1 教育課程

#### (1) 教育課程編成

知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校高等部学習指導要領の趣旨に則り、学校の教育目標を達成するため生徒の障害の程度及び特性を考慮し、生活力を身に付けるための教育課程を編成する。平成30年度から、職業教育の充実に向け、生活サービス科（ハウスクリーニングコース、ウエアクリーニングコース）、流通サービス科（事務流通コース、食品加工・接客コース）、環境デザイン科（農芸コース、木工コース）の3学科6コースによる専門学科が開設し、それぞれの教育が編成されている。

- ① 「為すことによって学ぶ学習」を通して、物事を具体的に処理する能力を育てる教育を行う。
- ② 個々の持つ可能性や個性を生かし、生徒が意欲的に見通しをもって取り組める教育を行う。
- ③ 専門学科におけるコース別実習の指導内容の充実を図り、指導方法を工夫し、職業的態度や技能を養成する教育を行う。

#### (2) 年間授業時数

学科	学 年	学 級	各学科に共通する各教科											専門学科において 開設される各教科					道徳 (道徳科)	自 立 活 動	特 別 活 動	総 合 的 な 探 究 の 時 間	年 間 授 業 時 数 (45)	年 間 授 業 時 数 (50)		
			国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	職 業	家 庭	外 国 語	情 報	家政、農業、工業、流通・サービス、福祉												
														ハ ウ ス ク リ ー ニ ン グ	ウ エ ア ク リ ー ニ ン グ	事 務 流 通	食 品 加 工 ・ 接 客	農 芸							木 工	
生活サービス科	1	4	58	29	58	29	58	0	84.1	161.5	58	14.5	14.5	451.5					26.1	43.5	93	29	1208	1086		
	2	4	58	29	58	29	0	58	78.3	58	58	14.5	20.3	コース	555						26.1	43.5	93	29	1208	1086
	3	4	58	29	58	29	選択	58	78.3	58	58	14.5	20.3	コース	555						26.1	43.5	93	29	1208	1086

#### (3) 指導方針

##### ① 各教科

日常生活で必要とされる事項等を教材として取り入れながら、基礎的・系統的学習を積上げていき、将来の社会生活に必要な知識及び能力や態度の向上を目指した学習を行う。

##### ② 専門学科（職業学科 3学科6コース）

職業的自立に必要な態度や技能（生きて働く力）を育てる学習を行う。

生活サービス科	ハウスクリーニングコース	清掃に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、清掃に関する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、清掃に関連する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。
	ウエアクリーニングコース	ウエアクリーニングに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、クリーニング業の意義と役割の理解を深めるとともに、クリーニング業に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。
流通サービス科	事務流通コース	商品管理や一般事務等に関する活動への興味・関心を深めながら、知識と技能の習得を図り、職業的自立に必要な能力と態度を育てる。
	食品加工・接客コース	食品加工や接客に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図りそれらの意義と役割を深めるとともに、職業的自立に必要な能力と態度を育てる。
環境デザイン科	農芸コース	農芸に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、製造業の意義と役割の理解を深めるとともに、製造に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。
	木工コース	木工に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、製造業の意義と役割の理解を深めるとともに、製造に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

##### ③ 特別活動

生徒会活動や委員会活動を通して、生徒主体の取り組みを設ける。

##### ④ 学校行事

体育祭・希望祭、地域とのふれあい等の諸行事を生徒と共につくりあげ、地域社会の人々とのふれあいができるような場を設定し、本校教育の理解と啓発を図る。

⑤ 総合的な探究の時間

学年実施とし、1年次は「様々な年代、職業の人との交流」、2年次は「修学旅行で見聞を広める」、3年次は「卒業後の生活に向けて」をテーマに、課題発見、問題解決に向けた資質や能力を育成することを目指す。

⑥ 自立活動

生活自立、社会的・職業的自立を目指し、学校生活全般を通して行う。

⑦ 道徳

自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、他者とともによりよく生きるための基礎となる道徳性を養う。

## 2 使用教科書一覧

### (1) 教科書

教科等名	教科書名	発行所名	使用学年
国 語	改訂新版くらしに役立つ国語	東洋館出版	1学年
	くらしに役立つ国語	東洋館出版	2・3学年
社 会	ひとりだちするための社会	日本教育研究出版	全学年
	基本地図帳	二宮書店	全学年
数 学	改訂新版くらしに役立つ数学	東洋館出版	1学年
	くらしに役立つ数学	東洋館出版	2・3学年
理 科	くらべてわかるできる子図鑑理科 新装版	旺文社	1学年
	くらべてわかるできる子図鑑理科 改訂版	旺文社	2学年
	くらしに役立つ理科	東洋館出版	3学年
音 楽	MOUSAI	教育芸術社	1学年
	高校生の音楽1	教育芸術社	3学年
美 術	美術1	光村図書	2・3学年
保健体育	高等学校 保健体育 Textbook Activity	第一学習社	全学年
職 業	ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション	日本教育研究出版	全学年
家 庭	改訂新版くらしに役立つ家庭	東洋館出版	1学年
	くらしに役立つ家庭	東洋館出版	2・3学年
外 国 語	Talk and Talk book1	正進社	1・2学年
	くらしに役立つ英語	東洋館出版	3学年
情 報	情報I図解と実習一図解編・実習編	日本文教出版	1・2学年
	新・見てわかる社会と情報	日本文教出版	3学年
流通・サービス(ハウスクリーニング)	1から学ぶ清掃マニュアル	公益社団法人東京ビルメンテナンス協会	2・3学年
家政(ウエアクリーニング)	いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典	成美堂出版	2・3学年
流通・サービス(事務流通)	今すぐ使えるかんたんぜったいデキます!ワード&エクセル超入門	技術評論社	2・3学年
	はじめての人の電卓操作入門塾	かんき出版	2・3学年
家政(食品加工・接客)	調理の基本「まるわかり便利帳」	女子栄養大学出版	2・3学年
農業(農芸)	マンガと絵でわかる おいしい野菜づくり入門	西東社	2・3学年
工業(木工)	最新版 これ一冊ではじまる!日曜大工	ナツメ社	2・3学年

### (2) 補助教材

教科等名	教科書名	発行所名	使用学年
国 語	陰山メソッド徹底反復 書き順プリント4・5・6年	小学館	全学年
数 学	ひとりだちするための算数・数学ワーク①ーお金編ー	日本教育研究出版	全学年
	ひとりだちするための算数・数学ワーク②ー時間編ー	日本教育研究出版	全学年
	ひとりだちするための算数・数学ワーク③ー量と測定・図形・表とグラフ編ー	日本教育研究出版	全学年
理 科	中学入試くらべてわかるできる子図鑑 理科 改訂版	旺文社	3学年
音 楽	高校生の歌集つどい改訂版	啓隆社	1・3学年
保健体育	からだどと心のマナーブックレッツ!!からだの探検隊	社会福祉法人南高愛隣会	全学年
情 報	見てわかる情報モラル第3版	日本文教出版	全学年
家政(ウエアクリーニング)	衣類のお手入れ	NHK出版	2・3学年
流通・サービス(事務流通)	日本語ワープロ検定試験 日本語ワープロ模擬問題集3・4級編	日本情報処理検定協会	3学年
	全商ビジネス計算実務検定 模擬試験問題集1級	実務出版	3学年
	全商ビジネス計算実務検定 模擬試験問題集2級	実務出版	3学年
	全商ビジネス計算実務検定 模擬試験問題集3級	実務出版	2学年
	情報処理技能検定試験 表計算3・4級編	日本情報処理検定協会	2・3学年

### 3 日程表・週時程表

#### (1) 日程表

生徒	月・水・金	火	木
登校	～ 8:30	～ 8:30	～ 8:30
朝自習	8:30～ 8:45	8:30～ 8:45	8:30～ 8:45
SHR	8:45～ 8:55	8:45～ 8:55	8:45～ 8:55
1校時	9:00～ 9:20	9:00～ 9:20	9:00～ 9:20
2校時	9:30～ 10:15	9:30～ 10:15	9:30～ 10:15
3校時	10:25～ 11:10	10:25～ 11:10	10:25～ 11:10
4校時	11:20～ 12:05	11:20～ 12:05	11:20～ 12:05
昼休み	12:05～ 13:00	12:05～ 13:00	12:05～ 13:00
5校時	13:00～ 13:45	13:00～ 13:45	13:00～ 13:45
6校時	13:45～ 14:30	13:50～ 14:35	13:50～ 14:35
7校時	14:30～ 15:15	14:40～ 15:25	
清掃	15:15～ 15:30	清掃なし	14:35～ 14:50
自立活動	15:30～ 15:40	15:30～ 15:40	14:50～ 15:00
SHR	15:40～ 15:50	15:40～ 15:50	15:00～ 15:10
放課後(部活動)	15:50～ 17:00	15:50～ 17:00	15:10～ 17:00
下校	17:00	17:00	17:00

職員	月～金
勤務開始	8:30～
職員朝会	8:30～ 8:45
休憩	12:15～ 13:00
勤務終了	17:00

#### (2) 週時程表

	月			火			水			木			金						
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年				
8:45 8:55	S H R															8:45 8:55			
1校時 9:00 9:20	道徳			体力トレーニング/ 情報			自立活動			道徳			体力トレーニング/ 情報			1校時 9:00 9:20			
2校時 9:30 10:15	国語	数学	保健 体育	社会	保健 体育	情/英	専門 コース			L H R			保健 体育	英/情	国語	2校時 9:30 10:15			
3校時 10:25 11:10	家庭	理科	数学	社会	家庭	国語				家庭	社会	数学	数学	音・美	3校時 10:25 11:10				
4校時 11:20 12:05		国語				数学				英/情	社会				理科	数学	国語	4校時 11:20 12:05	
12:05 13:00	昼 休 み															12:05 13:00			
5校時 13:00 13:45	専門 コース			職 業			専門 コース			職 業			専門 コース			5校時 13:00 13:45			
6校時 13:45 14:30				音楽						美術						K I B O U 時 間			6校時 13:45 14:30
7校時 14:30 15:15				13:50 国語						14:35						14:35 清 掃			7校時 14:30 15:15
				14:40 理科						15:25						14:50 自立活動			
15:15 15:30	清 掃						清 掃			15:10			15:15 15:30						
15:30 15:40	自立活動															15:30 15:40			
15:40 15:50	S H R															15:40 15:50			
15:50 17:00	放課後(部活動)															15:50 17:00			
17:00	下 校															17:00			

## 4 年間行事予定等

### (1) 年間行事予定表

日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1	月 運営委員会・職員会議 辞令交付式	水	土 高校総体	月 実習報告会(2、3年)	木 進路面談(3年)	日
2	火 新転入者オリエンテーション	木	日	火 月曜日課	金	月 2学期始業式
3	水	金 憲法記念日	月	水	土	火
4	木 新入生オリエンテーション	土 みどりの日	火 ▼	木 育成会④ 県知P	日	水 実習先訪問(3年)
5	金	日 こどもの日	水	金	月	木
6	土	月 振替休日	木 育成会③	土	火	金
7	日	火 歯科検診	金 実習出発式(2、3年)	日	水	土
8	月 着任式・1学期始業式 第34回入学式/職員会議	水	土	月	木 ICT活用研修	日
9	火 個人写真撮影 集団下校	木 耳鼻科検診 育成会総会② 県知P	日	火	金 全校登校日(平和集会)	月 避難訓練
10	水 部活動見学	金 検尿二次	月 前期現場実習(2、3年)	水	土 学校閉庁日	火 修学旅行(2年)
11	木 専門委員会	土	火	木 キャリア検定(清掃1回目)	日 山の日	水
12	金	日	水 校内実習事前学習(1年)	金	月 振替休日	木 育成会⑤
13	土	月	木	土	火	金 実習出発式(3年)
14	日	火	金 県特音研(本校) 校内実習(1年)	日	水	土
15	月 心電図・胸部レントゲン	水 体育祭総練習	土	月 海の日	木	日
16	火 内科検診 検尿一次	木	日	火 月曜日課	金	月 敬老の日
17	水 体力テスト・ 体育祭オリエンテーション	金	月	水	土	火 後期現場実習(3年) 月曜日課
18	木 眼科検診 避難訓練 育成会①	土	火	木	日	水
19	金 歓迎行事	日 第34回体育祭	水	金 1学期終業式	月	木
20	土	月 5/19代休	木	土	火	金
21	日	火	金	日	水	土
22	月	水	土	月 体験入学	木	日 秋分の日
23	火 検尿一次(予備)	木 生徒総会	日	火 進路面談(3年)	金	月 振替休日
24	水	金 学校見学会(前期)	月	水	土	火
25	木 集団学習(1年)	土	火	木	日	水
26	金 ▼	日 県障害者スポーツ大会	水	金	月	木 月曜日課
27	土	月	木 ▼校内実習終了 校内実習事後学習 ▼現場実習終了	土	火	金
28	日	火	金	日	水	土
29	月 昭和の日	水 実習先訪問(2、3年)	土	月	木	日
30	火	木 検尿二次(予備)	日	火	金	月
31	金	土 高総体開会式(長崎市)	日	水	土	日
備考	容儀指導 美化週間  授業日数：16日	容儀指導  授業日数：21日	容儀指導  授業日数：20日	容儀指導 アビリンピック県大会 専門委員会 校外学習(3年) サマーフェスタ キャリア検定(清掃)  授業日数：14日 1学期授業日数：71日	求職登録(3年) 実習先開拓 漢字検定① 長特研夏季研修会	容儀指導 専門委員会 校外学習(2年)  授業日数：19日 前期授業日数：90日

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		日
火		金		日		水	元日 年始休日	土		土	第32回卒業式	1
水		土	開校記念日	月		木		日		日		2
木		日	文化の日	火		金	▼	月		月		3
金	▼現場実習終了	月	振替休日	水		土		火		火		4
土	特支陸上	火	長崎っ子の心を見つける教育週間 生徒募集説明会	木		日		水		水	合格者説明会	5
日		水	実習先訪問 (1、2年)	金	▼現場実習終了	月		木	育成会⑨ 県知P	木		6
月	実習報告会 (3年)	木	月曜日課 県知P	土		火		金		金		7
火	月曜日課	金	漢字検定② 県総文祭	日		水	3学期始業式	土		土		8
水		土	郷土芸能発表大会	月	実習報告会 (1、2年)	木		日		日		9
木	育成会⑥	日		火	月曜日課	金		月		月		10
金	学校見学会 (後期)	月		水		土		火	建国記念の日	火		11
土		火		木		日		水		水		12
日		水	通勤練習 (1年)	金		月	成人の日	木		木	育成会⑩	13
月	スポーツの日	木	育成会⑦	土		火		金	▼	金		14
火	10/19代休	金	実習出発式 (1、2年)	日		水		土		土		15
水	美化週間	土		月		木		日		日		16
木	希望祭総練習	日		火	キャリア検定 (事務アシスタント)	金		月		月		17
金		月	後期現場実習 (1、2年) 教育実習	水		土		火		火		18
土		火		木	育成会⑧	日		水	▼	水		19
日	第34回希望祭	水		金		月	進路面談 (1、2年)	木		木	春分の日	20
月	10/20代休	木		土		火		金		金		21
火		金	全国アビリンピック (愛知)	日		水		土		土		22
水		土	勤労感謝の日	月		木		日	天皇誕生日	日		23
木	月曜日課	日		火	2学期終業式	金		月	振替休日	月	修了式・離任式	24
金		月		水		土		火	3/1代休	火		25
土	全国障害者スポーツ大会	火		木		日		水	卒業式予行	水		26
日		水		金		月		木	送別会	木		27
月	▼	木		土		火		金	同・記・皆式	金		28
火		金		日	年末休日	水				土		29
水		土		月		木				日		30
木				火		金				月		31
容儀指導 KIBOUタイム1日活動 特支陸上大会 地域清掃  授業日数：22日		容儀指導 通勤練習 (1年) ココロモノとアート展 情報モラル研修 いじめ根絶集会  授業日数：20日		容儀指導 人権集会 専門委員会  授業日数：17日 2学期授業日数：78日		容儀指導 入学者選考検査 専門委員会  授業日数：17日		容儀指導 生徒会役員選挙 金融教育  授業日数：17日		容儀指導 専門委員会  年間授業日数 (1・2年)：199日 年間授業日数 (3年)：184日		備考

## 七 防災非常対策計画

学校生活の中で災害の予防には万全を期し、緊急災害時には、生徒の避難・退避の安全を確保する。具体策として年に一度の避難訓練・消火訓練を実施し、防災意識の育成を図る。

### 1 生徒在校時の非常事態について

- (1) 第一に生徒の「避難誘導」「人員点呼」「安全確認」を確実にを行う。
- (2) 消火器の所在、使用方法の研修に努め、火災発生に際しては、可能な段階の初期消火を図る。
- (3) 災害発生時、適切な情報伝達・通報をする。火災報知機が作動した場合、直ちに職員室・事務室に在室する職員で対応し、状況に応じた通報連絡を行う。消防署等外部への通報は可能な限り本部の指示を受け、原則として事務長が行う。
- (4) 火災発生時の搬出については、職員が行う。非常持ち出しの書類等については、予め確認し、定められた位置に「非常持出」の表示をしておく。
- (5) 組織と活動内容

係	担当職員	活動内容
本部	校長 事務長 教務主任 教務主事 生徒指導主事	1 災害状況を即時的確に把握、非常ベル・非常時放送で事態に応じた避難順路等の指導 2 消防署への通報 ※諫早消防署多良見分署 3 避難誘導係等への指示と通報（人員点呼）をうける確な対応をする。 ※諫早警察署喜々津交番
避難誘導	授業担当教師	放送の指示を受け誘導と人員を把握して連絡（生徒の安全確保）
消火班	久保・駕屋・岩村・遠藤	初期消火に努め、延焼を防止する
捜索・救助	久保・駕屋・岩村・遠藤	残存者の確認及び救助
搬出班	松本	事務関係の「非常持出」書類を搬出する
救護班	林田千・江口・久保田	応急処置品を持ち出し、傷病者の手当てをする

#### (6) 避難誘導の注意

非常事態発生時、教室から避難を行う際は、行動要領、避難場所、順路を非常時放送で指示する。  
（避難訓練要領に準ずる）

- ① 生徒は廊下に並び、指示された順路で、上ばきのまま避難場所へ移動する。
- ② 避難完了後は直ちに人員点呼を行い、担当が本部へ報告する。

### 2 生徒不在時の非常事態について

#### (1) 教職員

非常事態発生後、直ちに職員連絡網により周知し、速やかに出校する。なお出校後は、同一場所に待機し、指示により行動する。

#### (2) 生徒

災害発生時は登校途中の危険性が考えられるので、登校させない。

## 災害発生時の対応

### 〈役割分担〉

本 部	校長、教頭、事務長、主幹教諭、教務主任、生徒指導主事
警報器の確認	事務職員、発生現場職員
情報収集 関係機関への連絡	事務長等
放送・避難指示	教務主任もしくは教頭
避難誘導、人員確認 本部への報告	授業責任者（担任、教科担当者、専門コース主任、部活動主顧問）
初期消火	発見者、消火班職員
捜索・救助 残存者の確認	生徒の対応にあたらぬ消火班職員（4名）
搬 出	職員室、事務室に在室し、生徒の対応にあたらぬ職員
救 護	保健環境部主任、養護教諭、学年（1名）

### 〈具体的な対応〉

	対応の流れ	本部	事務室	授業責任者	授業責任者以外
第 一 次 避 難	<b>災害発生</b>  安全確保 (その場で)	災 害 発 生 の 発 見			
		校内放送 (可能な場合)			
		安全確保 (静かに指示を待つ、机の下にもぐる、安全な場所に集まる等)			
		情報収集			
第 二 次 避 難	本部の設置 放送 避難誘導 救護・搬出 残存者の確認  人員確認→報告  避難完了	校内放送			
		搬出	避難誘導 (人員確認を行い、安全を優先し誘導)		
			救護 (傷病者の対応) 搬出 (出席簿)		
		人員の集約	人員確認 (確認後、本部に報告)		残存者の確認 (各教室・トイレ 等の点検)
		教頭 ↓ 校長	学年主任←学級担任←生徒 主幹教諭←学年付職員・各係・WSG 事務長←事務職員←事務室		
		避 難 完 了			

※人員点呼用ファイルは、校長、教頭、事務長で管理する。

※避難中も指示の放送が流れることが考えられるので、誘導にあたる際は留意する。

## 十 特色ある教育活動

本校は知的発達に遅れのある生徒が学ぶ学校である。「テーマのある学校生活」を送り、「地域社会に根ざした教育活動を行い、「生きて働く力」＝「生活する力」を身に付け、卒業後、社会的自立・職業的自立ができる力の育成を図っている。また、職業に関する専門学科となって6年目を迎え、さらなる職業教育の充実を図っている。

### 1 「テーマのある学校生活」

学校生活は、現場実習・体育祭・希望祭・ふれあい活動等のテーマを設定し、教科学習、専門学科（3学科6コース）の学習を行っている。

テーマのある学校生活を送ることで生徒と教師が共に同じ目当てをもつことができ、生徒一人一人の生活課題を成し遂げる喜びを味わうことができる。

#### (1) 現場実習

地域や居住地の企業・施設等で実施する年2回の現場実習は、働くことの厳しさや喜びを体験する機会である。現場実習での評価を、生徒、保護者と教師で共有し、自分の強みと課題を把握するとともに、卒業後の職業自立・生活自立に向けた目標を設定する手掛かりとしている。

#### (2) 体育祭

日常の体育学習等の成果を発表している。生徒自らその年のテーマを考え、設定している。個人種目、団体種目があり、団長を中心に練習に取り組んでいる。3学年縦割りのグループ編制をすることで、学年を超えた様々な対人関係、協調性を養う機会にもなっている。

#### (3) 希望祭

各教科、専門学科で学習した内容を、ステージ発表やスライドにまとめ、保護者や地域の方々に発表している。専門コースでの取組を発信する機会にもなっている。

#### (4) 総合的な探究の時間（KIBOU タイム）

系統的に学習できるよう学年別実施し、1年次は「様々な年代、職業の人との交流」、2年次は「修学旅行で見聞を広める」、3年次は「卒業後の生活に向けて」をテーマとして、活動を行っている。



校内実習（ウエス作業）



体育祭（障害物競争）



希望祭（ステージ発表）



総合的な探究の時間（1年1日活動）



## 2 「地域社会に根ざした教育活動」

地域の公共施設と連携して、喫茶活動、清掃活動、緑化活動などに積極的に取り組んでいる。年間を通じて、学年や課外活動等でさまざまな形態を取り、活動を広げて実施している。

### (1) 全体での取り組み

地域清掃は、年に2回、町内の清掃作業を行っている。2学期は、「高校生さわやか運動」の一環で実施している。

### (2) 課外活動での取り組み

#### ① 陸上競技部

陸上競技を通して、体力の向上や協調性を養うとともに、県障害者スポーツ大会、長崎県高総体をはじめ県新人戦などの各種競技会に参加し、九州及び全国大会を目指している。

#### ② ウエイトリフティング部

ウエイトリフティング競技を通して、体力の向上や協調性を養うとともに、他校との合同練習会や長崎県高総体をはじめ県新人大会等の競技会に参加し、九州及び全国大会を目指している。

#### ③ サッカー部

サッカー競技を通して、将来働くための体力や協調性を養い、自らが考えて行動できる力を身に付けるために、様々な大会への参加や、日々の練習に取り組んでいる。昨年度は、「もうひとつの高校選手権九州大会」で優勝、県内4校で争う「第4回スペシャルリーグ」で優勝するなどの成績を取めた。

#### ④ バドミントン部

バドミントン競技を通して、自主性・協調性を養うとともに技術面の向上を目指している。昨年度は創部初となる長崎県高総体の団体戦に出場した。また、諫早市内の大会にも参加し、ダブルスで優勝をするなどの成績を取めた。

#### ⑤ 和太鼓部

地域のイベントに出演し、和太鼓の演奏を通じて交流を行っている。昨年度は全国高等学校総合文化祭（かごしま総文）の郷土芸能部門へ長崎県代表として出場した。また、日本太鼓ジュニアコンクール県大会で3位に入賞し、九州大会に出場した。また、Vファーレン長崎や長崎ヴェルカの試合前イベントにも出演した。

#### ⑥ 家庭部

布やフェルトを用いた小物作りや簡単な調理などを行っている。昨年に引き続き、令和5年度も長崎市障害者アート作品展に共同作品を出品し、佳作に選ばれた。ものづくりの楽しさを味わうとともに、生徒同士の関わりを増やし、協調性を育てている。

#### ⑦ 新聞部

「希望が丘新聞」と号外、個人新聞を発行している。「希望が丘新聞」は高文連学校新聞コンクールにおいて、令和5年度には5年連続となる優良賞を受賞した。

#### ⑧ 美術部

校外での鑑賞会等を通して、美術に対する興味関心を深め感性を育てている。作品展やポスターコンクールにも積極的に出品し、令和5年度は長崎県高等学校美術展絵画部門において、1名の生徒が優良賞を受賞し、2名の生徒の作品が入選した。

## 3 「生きて働く力」

### (1) 職業に関する専門学科における実習活動

職業的・社会的自立に必要な実践力を身に付けることを目標に、2年生から3学科・6コースに分かれて学習している。1年生では全てのコースを体験し、態度面や意欲を高めるとともに、コース選択を行う。そして近年需要が高まっている福祉関係への就労に向け、令和3年度から1年生を対象に「介護に関する入門的研修」を開始し、更に今年度から修了者を対象に「生活援助従事者研修」を実施予定である。

3学科6コースで学ぶ内容は以下のとおり。

生活サービス科	○ハウスクリーニングコース 校舎内外の清掃、洗車、近隣施設の校外清掃、アビリンピックに向けた取組等 ○ウエアクリーニングコース 専門の機械や道具によるワイシャツやはっぴなどのクリーニング仕上げ等
流通サービス科	○事務流通コース 事務作業、校内自販機の運用、運搬作業や梱包作業、パソコン及び電卓の技能検定等 ○食品加工・接客コース 調理・製菓と包装、たらみ図書館等での校外喫茶活動、アビリンピックに向けた取組等
環境デザイン科	○農芸コース 草花や野菜の栽培、校内環境の美化、校外施設の管理、食品加工・販売等 ○木工コース 木工加工・組立、木工製品や家具の受注製作・販売

※技能向上のための校内検定を実施するほか、1年生は清掃に関する県のキャリア検定を受検する。

## (2) 現場実習

現場実習は、1年生で1回、2・3年生でそれぞれ2回実施している。2・3年生の前期現場実習は6月、後期現場実習は3年生が9月下旬から10月上旬、1・2年生が11月下旬から12月上旬にかけてそれぞれ約3週間実施している。また、3年生は、就職を掛けて特別実習を行うこともある。本校の現場実習は、実習先への卒業後の就労を目指し、実際の現場でどのような力を身に付ける必要があるかについて評価を得ることが主な目的であり、卒業後の就労を仮定して、採用基準に対しての到達度を評価していただいている。そして、実習で得た評価を基に、学校で日々課題に取り組み、採用基準を満たす生きてはたらく力を高めている。



現場実習（パン製造）



現場実習（物流作業）

## (3) デュアルシステム型現場実習

1～2週間に1日程度の実習を、年間を通して繰り返し行う実習を、「デュアルシステム型現場実習（以下デュアル実習）」と呼び、本校では積極的に取り組んでいる。デュアル実習は3週間連続して行う現場実習とは異なり、課題をすぐに学校に持ち帰り、授業の中で改善を図るという特徴がある。

これまで、企業に協力をいただき、農作業、小売店での店頭販売及び商品陳列、清掃、クリーニング、ピッキングなどの内容を行ってきた。デュアル実習では、実際の職場で従業員の方の働く姿を見たり、直接お客様と関わったりすることで、職業観を育成しながら実践的な職業能力を身に付けることができる。また、日常的に教師や仲間とともに実習することで、3週間の現場実習や卒業後の就労生活にスムーズに移行することができるなどの多くのメリットがある。また、実習の様子を認められることで、就労につながる可能性もある。企業にとっては、指導は基本的に教師が行うため、人的な負担が少なく、受入体制や職種・職域の開発、職場環境の改善の手がかりを得たりすることができる。今後も企業と協力しながら、力を入れて取り組んでいく。

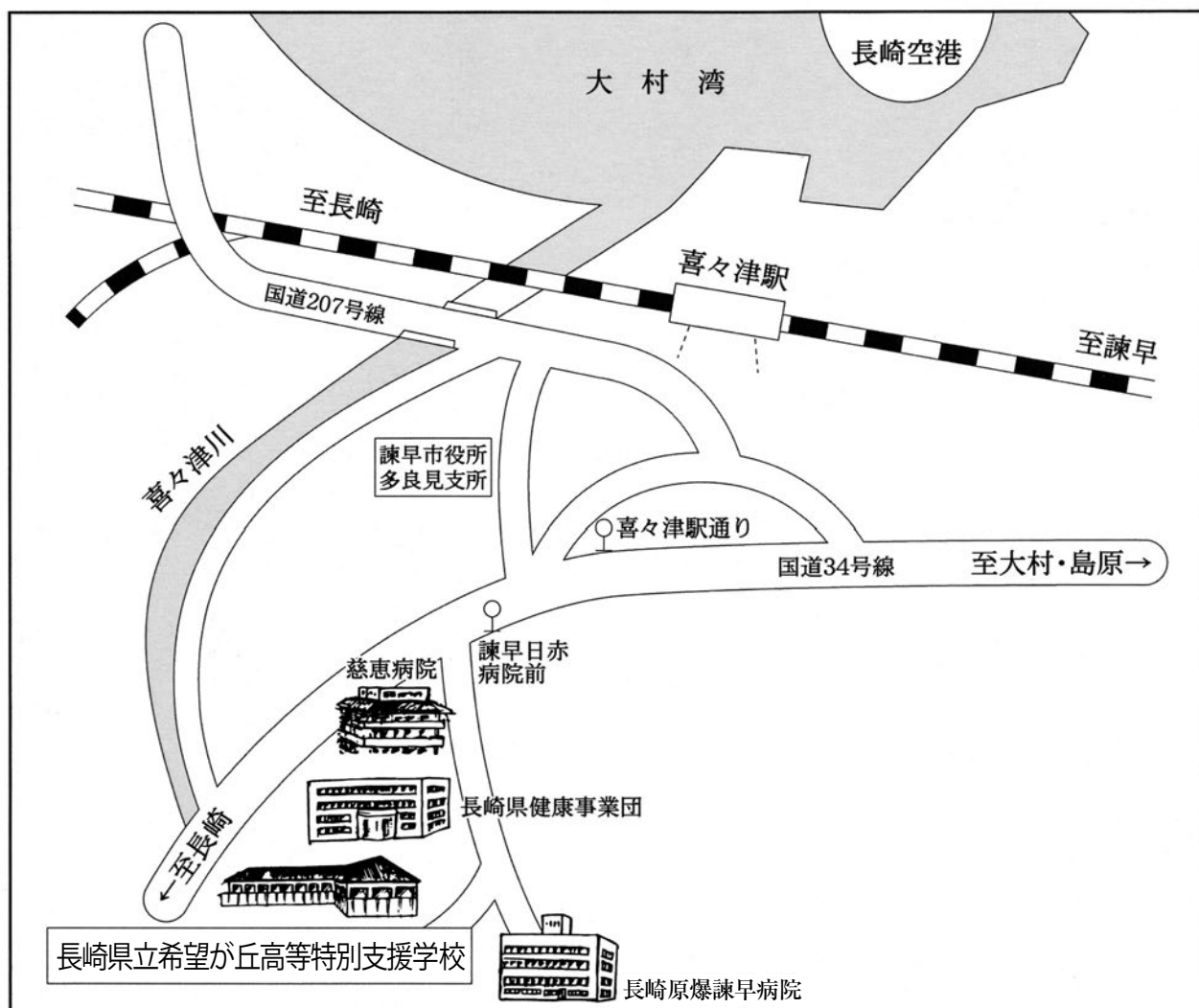


デュアル実習（店頭販売）



デュアル実習（清掃、洗車）

## 学校案内図



### 交通機関

- ① JR九州長崎本線  
喜々津駅下車徒歩15分
- ② 県営バス  
喜々津駅通り下車徒歩5分  
諫早日赤病院前下車徒歩2分

学校番号

78